

Domnung Pii SCHEC

ドムヌン ピー シェック

～ シェックからの便り～

第3号(2004年12月号)

NPO法人カンボジアの健康及び
教育と地域を支援する会(SCHEC)

東京都新宿区四谷4-3-29

〒160-0004 伸治ビル4階

Tel・Fax 03-5368-6387

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~SCHEC/>

こんにちは。NPO法人SCHECでは、毎年、11月と3月にカンボジアへ赴き、歯科医による歯科診療活動や、井戸の設置状況の視察、小学校の建設事業の確認などを行っています。今回は2004年11月の活動の様子をご報告いたします。
事務局

真新しい校舎に 子供達の夢をのせて

2004年11月の支援活動では、ご寄附によりシェムリアップ州に2つの校舎を建設することができました。大宮シティロータリークラブご寄贈の「バンコン小学校・大宮シティロータリークラブ校舎」と吉田嘉子さんご寄贈の「コックトロック・サンキム小学校」です。

11月15日にバンコン郡アンピール地区バンコン村にて「バンコン小学校・大宮シティロータリークラブ校舎」の開校式が、大宮シティロータリークラブの8名の会員のご参加を得、行われました。この小学校ができたことにより、1年生から3年生まで240名の児童が学校に通うことができるようになりました。

地元の新聞には、「子どもたちが勉強できるような新校舎がほしいと願っていた村人たちの長年の夢が、ついに実現した。」との記事が掲載されました。



バンコン小学校開校式。来賓のご挨拶を静かに聞く児童たち。後ろに新校舎が見える。

それから5日後の11月20日、チクレン郡コックトロッククロム地区トプシム村において、「コックトロック・サンキム小学校」の開校式が行われました。1校舎5教室の小学校で、1年生から3年生まで270名が通学することになります。今回は、歯科医師、歯科衛生士とボランティアの方々のご参加により、児童の歯科検診、ブラッシング指導、地域の人々の歯科診療を行うことができました。(注:両校とも教室数の問題から高学年は村から何キロも離れた小学校へ通っています。)



上)コックトロック・サンキム小学校の開校式のようす。カンボジアと日本の国旗がゆれる。右)ブラッシング指導の前に「手をたたきましょう」を歌って児童の緊張をほぐす、衛生士とボランティア、通訳の方々。



喜びの声



ンちゃんは笑顔で答えてくれました。

「前はボロボロで今にも崩れそうな校舎でした。新しい教室ができてうれしいし、楽しいです。」と1年生のティちゃんとりヤン

みなさまの力を合わせて 小学校建設を

現在、少額の小学校建設寄附金が約150万円集まっていることを、現地で支援してくれているカンボジア国会議員のシエン・ナム氏に伝えたところ、「足

カンボジアの未来へ

大宮シティロータリークラブ

RI100周年記念特別事業委員会

委員長 沖田定男

私は、3年前の9.11事件の2ヵ月後に井戸掘りに訪問して以来、カンボジアへは2回目になりますが、1回目の時は大変ショックを受けて帰国したのを覚えております。

前回訪問したときに、村長さんから、井戸も大変有難いが子供達の教育も重要な課題であり、是非、学校建設と教育資材のご支援を戴きたいと要請を受けました。カンボジアは、ポルポト政権時代に、当時の有識者は全て国外逃亡か虐殺されてしまったものですから、国家の再構築には生活のための飲料水も重要ですが識字率向上のための教育問題も大変重要な課題の一つです。帰国後、クラブで様々の会員と相談した結果、是非我がクラブで校舎を建ててあげようよということになりました。特別募金活動に入り、多数の賛同を得て、シェムリアップ州のバンコン村に鉄筋平屋建て5教室1棟と教育資材を提供することができ、バンコン小学校大宮シティロータリークラブ校舎と名付けさせて頂きました。多くの子供達が学び、国家の再構築と国際平和につながる人材が大勢育成されることを願っております。

りない分は自分の資金から提供するのでぜひ小学校を建設して欲しい」との申し出がありました。理事会で検討したところ、学校建設は緊急課題となっていること、またご寄付者の方を長くお待たせしていることを鑑み、2005年3月に「センソック・サンキム小学校」を建設することになりました。この地区では、現在教室が足りないために就学年令に達した200名近い子どもが学校に行くことができないということです。

できるだけ日本にて資金を集めたいと考えております。1口2万5千円からのご寄附にご協力をお願い申し上げます。

- 照りつける太陽の下で - 歯科診療活動

今回の歯科診療事業は、歯科医師 18 名、歯科衛生士・助手 7 名に加え、多くのボランティアの方のご参加を得て、行うことができました。

小学校検診では、昨年 11 月、今年 3 月に建てた小学校のほか、今回建設した小学校でも検診とブラッシング指導を行い、さらに近隣住民の歯科診療活動を行ってまいりました。歯科検診・指導を受けた児童数は 521 名、また、250 名が歯科診療を受けられました。

小学校での検診の様子



さらに今回は、小型の発電機をご寄贈いただいたことにより、これまで課題であった、抜歯だけでなく、保存治療への第一歩を踏み出すこともできました。



抜歯のため、麻酔注射をする歯科医師と患者さんの頭を押さえるボランティアの方

風光る ~ ~ ~ ご支援者の横顔

『東京女子大学 茜会』

茜会の創立時（1961～1970 年卒）の寮生の会で、2 年毎に集まって、寝食を共にした思い出を育んでいらっしゃいます。当時の寮監でいらした故杉森エイ先生は 90 歳近くになられても恵まれない方々のために奉仕活動を熱心にされていたとのこと。そのお心を引継がれて、会員の皆様はボランティア活動などに関心が高く、その中のお一人が朝日新聞に掲載された S C H E C の記事を会員にご紹介くださったところ、多くのご賛同を得て、井戸のご寄附をくださいました。さらに支援の輪が広がり、今回、東京女子大学の奉仕グループからも歯ブラシや鉛筆をお贈りいただきました。

多くのみなさまからご寄贈いただいたタオルや歯ブラシなどは歯科診療活動に有効に活用させていただきました。紙面を借りまして深く感謝申し上げます。

これからも歯科医師、歯科衛生士・助手のご協力をいただき、多くの人に受診機会をつくり、カンボジアの口腔衛生向上のために活動していきたいと考えております。引き続き歯科診療活動へのご支援を宜しくお願い申し上げます。

はじめての歯磨き

小学校で児童にブラッシング指導や歯科検診をしてくださった歯科衛生士の山崎さんより感想をいただきました。

虫歯の多さと口の中の汚れ、学校にアイス売りに来る、その一方で、歯ブラシを見るのも触るのも初めてという状況に、と

ても驚きました。最初は恥ずかしがっていた子供たちも、最後には自分で歯磨きをするようになり、予防の大切さを認識してくれたようです。次に続けていけたらと思います。

歯科衛生



お知らせ掲示板

支援活動写真展のご報告

12 月 9 日から 13 日まで阿佐ヶ谷区民センターにて写真展が行われました。多くのご来場を戴き、活動の様子をご覧いただくことができました。会場では、熱心に見入っていらっしゃる方や現地の状況をご質問くださる方もいらっしゃいました。様々なご質問にメンバーが直接お答えする、貴重な機会ともなりました。

認定 N P O 法人申請準備

ご寄付者が寄附金控除等の税の優遇措置を受けることができる認定 N P O 申請準備をいたします。この申請にあたっては、年間 20 万円以上のご寄附者のお名前・ご住所を国税庁に提出する必要があります。また、認定後はご寄付者全員のお名前・ご住所を所轄税務署に提出することになります。何卒ご理解をお願い申し上げます。



S C H E C 写真館

～ 農家の庭先の動物たち～

井戸掘り報告



2004 年 3 月から 10 月までのご寄附により、82 本の井戸を掘ることができました。世帯数にすると、254 世帯、約 1500 人が井戸水を使用

することができるようになりました。これにより S C H E C としては、累計で 466 本の井戸を寄附したことになります。

視察に行きますと、きれいな水を頭から何度も何度もかぶって見せてくれる子供がいたり、おいしそうに飲んでくれるおばあさんがいたり、たくさんの喜びにあふれた顔に出会うことができます。今回は、アンコールトム遺跡から奥に入った村やバンテアイスレイ遺跡の近くの村にも井戸を掘ることができました。初参加の新宿御苑ライオンズクラブの会員 7 名も、炎天下の中、一緒に村々を回り、クラブご寄贈の井戸を視察して戴きました。

いつものようにご寄贈いただいた手作りノートや使いかけのペン・ボールペンなどの文房具を村の子供たちに渡しました。どの子供も

とても嬉しそうに笑顔で受け取ってくれます。まだまだ生活するだけで精一杯の家庭が多く、学用品は大変喜ばれます。

井戸によって生活は飛躍的に向上しますが、井戸のある家の方が未だ少ない状況です。ご協力賜りますようお願いいたします。



S C H E C のスケジュール帳（予定）

2005 年 3 月 カンボジア視察支援活動

4 月 24 日 懇談会

6 月 26 日 会員総会

事務局便り

今年も無事に現地支援活動を行うことができました。皆様のご支援心から感謝申し上げます。お陰様で当会も少しずつ軌道に乗って来ました反面、事務量も増えて参りました。迅速な処理を心がけてはおりますが、領収書の発行が遅れがちなど何かとご迷惑をおかけして いますことをお詫言申し上げます。[〆]